

仕事の魅力発見フェス終了報告

6つの職種体験に80名がチャレンジ

令和4年7月22日開催

プロジェクト
通信
NO2



事務補助 (ファイリング)



JA上士幌町

製品・部品収納箱の清掃



パナソニックスイッチング
テクノジーズ株式会社

倉庫物流業務
(ラップ巻き・製品運搬など)



パーソルファクトリー
パートナーズ株式会社

介助業務 (リネン・清掃など)



社会福祉法人 音更町柏寿協会

開会式START

全てが勉強になった

チャレンジする自信が持てた

仕事の内容が分かった



参加者の声

企業の事をもっと知りたくなった

事務作業の様子

衣類の仕分け作業



ビッグバン
(株式会社オカモト)

ハンドリフト
体験



サラダの盛り付け作業



びっくりドンキー
(株式会社オカモト)

雇用促進・就労定着プロジェクトの障がい者雇用の考え

どんな人でも得意なこと不得意なことがあります。お互いにそれを認め合いカバーし合うことで、仕事も生活も成り立っています。その人の「働きたい」という気持ちを大切に、職業生活を通して輝いていける環境を整備していくことは、企業の役割であると考えます。適した業務・時間・場所を探っていくためには、まず「一緒に働く」ことに大きな意味があると考えます。その様な観点から、障がいがあってもなくてもお互いに仕事の質を向上させ、仕事の価値が高まっていくことは、だれもが地域社会で生きて、活躍・貢献できることに繋がるのではないのでしょうか。

プロジェクトからのメッセージ

求職者の方へ

僕にこの仕事は向いていないのかも...。私にできるだろうか...。と悩む前に、『チャレンジ』してみましょう。まずはそこから始まるのだと思います。思い切って、一歩前へ！

企業の方へ

とくに一般事務の場合、「この仕事には、この人...」ではなく、可能な限り『この人には、この仕事...』というように、発想を転換することが、マッチングのための手がかりになります。

今回の体験で、「仕事が面白いと感じた」「これならやれそうだと自信が持てた」というアンケートを沢山いただきました。仕事の魅力発見フェスは仕事を考えるための最初のステップと位置づけ、どんな準備段階の方でも参加いただきたいと思います。ブースを担当するプロジェクト企業も、初めてお会いする皆さんへ接することで、関わり方・配慮を学ぶ機会にもなっています。また、今回は全道の就業・生活支援センター、北海道庁、北海道障害者職業センターからの視察が入り、22名の方が参加されました。仕事の魅力発見フェスの取り組みを知っていただく事は求職者・企業だけでなく、地域の皆さんへの障がい者雇用の普及・啓発になると考えております。障がいのある方が活躍できる地域を目指すことが目標です。

フェスと同時進行で、障がい者雇用を検討している企業への相談会も行われていました。体験者の様子を見学することで雇用のイメージを持ってもらうことが目的です。その後、プロジェクト企業との懇談会も行い3社5名の方が参加されました。

今後のプロジェクトの取り組み

参加者募集中
8月より実施予定
です

仕事の魅力 発見フェス

仕事体験をし、
内容を知りま
しょう

企業見学会

企業を見学し
興味を高めま
しょう

プロジェクト スタイル実習

実際の仕事を
体験し、向き
不向きを考えま
しょう

模擬面接会

企業担当者
と面接練習をし
自信をつけま
しょう

10月27日雇用促進
フェアの練習に
ご利用ください
(予定)

7月22日終了

体験参加80名
参加者総勢170名

随時受付中

プロジェクト企業が体験
実習を受け入れます